

The image shows a vertical calligraphic work in white ink on a dark purple background. The text is composed of three horizontal lines of cursive script, likely Chinese or Japanese. The characters are written with expressive, fluid brushstrokes. At the bottom left corner, there is a red square seal with characters inscribed in seal script. The overall aesthetic is minimalist and artistic.

七

一、案內

612

卷之三

金堂戒壇めぐり、宝物拝観のご案内をいたします



ご案内のほかお食事・ご宿泊もできます

駐車場無料

<http://www.yakuoin.jp/>  
info@yakuoin.jp

〒380-0851 長野市元善町657

☆長野026-232-2382・8901

お問い合わせは

信州善光寺  
永代宿坊

善光寺は、今から千三百有余年の昔、本田善光を開山として、皇極天皇(西暦六四〇年)の勅願によつて創建された無宗派のお寺です。寺号の「善光寺」は、開山善光の名を勅許により、そのままつけられたものといわれています。現在の本堂は、元和十六年(一七〇三年)起工、宝永四年(一七〇七年)に落成したものです。これは大同四年(八〇九年)の炎上以来、元和十三年(一七〇〇年)の火災まで、実際に十数回の焼失を数えるからです。

三國伝來仏として、わが国に最も早く渡来した仏さまです。善光寺、本尊創建以来、お祕仏となつていていますので、誰も目にとめずにお詫りするといふことができます。しかし、「お戒壇めぐり」をして、ご本尊の真下にある「極樂の鏡前」にさわって縁を結ぶことがあります。

昔から、「一生に一度は参れ善光寺」といわれ、今日に至るまで大勢の人々の信仰をいたたく善光寺は、み仏の前では人間すべて平等であるとし、時の帝も太盛賤もみ仏の慈悲を願ふば、すべで許されるといふ广大無邊のみ心に満ちた靈場となつています。

樂樂樂

卷九

A close-up photograph of a decorative metal clasp attached to a dark brown leather belt. The clasp features intricate embossed designs, including what appears to be a central figure or emblem flanked by other motifs. A small chain or strap hangs from the side of the clasp. The background is blurred, showing some green foliage.

※表可仙格にすへて税抜き仙格です

(九〇名まで) 可席ス

お食事個人 四名～九名  
団体 十名～七〇名

五〇〇四（案內無料）

本堂內障癆

— 1000 — 國稅局

「個々の名様は、一五〇〇円」(四名様以上)

●お食事料金

七〇〇〇円

個人様

●(一泊二食宿泊料金)

---

宿泊とお食事

善光寺境内ご案内



- 自家用車でおいでの方は当院で駐車場のご用意がありますので当院門前までお越しください。
- タクシーでおいでの方は当院の門前で下車していただけるのでたいへん便利でございます。
- 長野駅前などからタクシーでおいでの方は運転士に「西之門町上って突き当たりを左に曲がってください」とご指定ください。

参拝の皆さまの先祖供養や家内安全・商売繁昌などの祈願が行われ、お申しこみいたいたい皆さまは、内々陣で法要に参列していただけます。善光寺本堂の御朱印も承ります。

氣輪における開口合歰がくべき。納骨方法宗旨・宗派を問わず、全骨でも分骨でお納めいたけます。靈壇「靈龕」特別納骨「普通納骨」の4種類がございます。

た。創建当初から宗派を問わぬとい善光寺には、古くから納骨の風習がありましたが、先祖代々のお墓にお納めする「身はいいに、心は信濃の善光寺」よりも、「身はいいに、心は善光寺にお祀りす」とともに、分骨を善光寺にお祀りするところも広く行われてきました。

御朱印

## 納骨のご案内 —雲上殿納骨堂について—

お仕えするから、おいでの方をお世話を  
詰り往復の一時休憩で心から奉仕  
申し上げております。お泊りで参  
また善光寺本堂内陣参詣、法要執行、  
物探観の一切を責任もってして来ていた  
す。お時間のない方や宿坊にお立ち寄  
りにまらば貨切バスでお越しの方のい  
ます。お食事　四名～一五〇名  
お泊り　一名～七十名  
本堂内陣券料（案内無券）五〇〇円  
（九〇名まで入席可）

その昔、諸国からの参詣者は、本堂の下で仮り寝（おいてり）の夢を結んだものですが、次第に参詣客が増えて、本堂にも泊まれなくなつてしましました。僧たちが自分の住まいである院坊に信者の方をお連れしてお世話をしました。これが善光寺独特の宿坊制度に発展してきました。

薬王院は善光寺三十九院坊の中でも、十一年の昔、この地に善光寺が建立されたとき、阿弥陀堂として最初に建てられたといふ由緒ある伝統の宿坊です。住んでいたところ以下、一坊すべてのものが、み仏に